

発行日 2016/2/8

社会福祉法人生活クラブ
 柏市地域生活支援センターあいネット
 〒277-0004
 柏市柏下65-1
 ウェルネス柏内
 電話：04（7165）8707
 FAX：04（7165）8709

目次	
第12回 フードドライブ	1
平成27年度第2回 地域生活定着支援 事業関係機関会議	2
就労訓練事業開拓 者養成講座	2
あいネット就労 支援準備室より	3
柏うお〜か〜	4
お知らせ	4

ひとこと

今年の恵方は南南東の方角だそうです。

欲張って大きめの太巻きを丸かぶりすると、むせてえらい目にあってしまいますね。

何事もほどほどに。それなりにいい運がめぐってきますように！



第12回 フードドライブ

余っていませんか？

ご家庭に眠っている食品大募集！！

「フードドライブ」とは？

ご家庭で余っている食品をご寄贈いただき、福祉施設や団体、困窮する世帯、個人等は無償で提供するボランティア活動です。

※集めた食品は民間や公的支援窓口を通じて提供します。



＜ご寄付いただきたい食品＞

お米、パスタ、乾物（のり・豆など）、保存食品（缶詰等）、フリーズドライ食品、インスタント食品、ギフトパック（贈答品の余剰等）、調味料各種、食用油、飲料（ジュース、コーヒー等）など

★注意いただきたい点

- ☒賞味期限が明記され、かつ2ヶ月以上あるもの
- ☒常温で保存が可能なもの
- ☒未開封であるもの
- ☒破損で中身の出していないもの
- ☒お米は常識の範囲内で古くないもの



＜受取り窓口＞

柏市地域生活支援センターあいネット（就労準備支援室）
 柏市柏5-2-17 TEL：04（7162）5933
 ※月～金 9時～17時



まだ使える家電や家具、寝具などもあわせて募集しています

お問い合わせ先
 柏市地域生活支援センターあいネット
 柏市柏下65-1ウェルネス柏3F
 TEL 04-7165-8707



平成27年度 第2回

地域生活定着支援事業関係機関会議

1月14日地域生活定着支援事業関係者会議に出席しました。

前半は千葉県地域生活定着支援センターより支援の実施状況の報告がありました。主な障がい疾病内訳（特別調整）は知的障害が14%と一番多く、次いで知的疑いが6%でした。罪名別内訳では、窃盗が35%と一番多い数字でした。軽微な犯罪を繰り返す人が多いとの事。出所日の曜日では、週末（金～日）が多く、市役所が休みである為に必要な支援が週をまたいでしまう事もあるとの事でした。

支援対象者は高齢者よりも障がい者が多い傾向にあり、収監中に手帳申請の手続きをすることもあるとの事。収監前の居住地は家族と同居が一番多く、次いでホームレスでした。最終的な住まいは自宅・アパート等が一番多く、次いで障害者支援施設、グループホーム（障がい）でした。支援内容としては、生活保護の申請が一番多く、次いで受給者証の申請手続きでした。

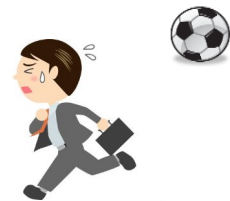
地域生活定着支援センター事業が始まった当初に比べ、刑務所や役所との連携がしやすくなり、福祉サービスの手続きが収監中に出来るようになったとの事でした。

後半は中里ワークホームの近藤さんから出所してから就労に結びついたケースの紹介がありました。収監中から事前に顔合わせをして関係を作り、1年かけて本人と丁寧に関わる中で就労に結びついたとの事。当初は支援者の中で就労する事が再犯につながるのではないかと心配もあったそうです。それでも、本人の「就労をしたい」という強い希望を大切にしながら施設の作業で丁寧にアセスメントを行った上で就労につなげていました。

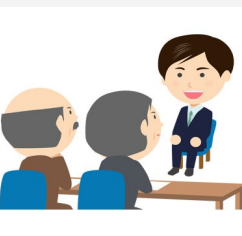
就労を希望する方の中には理想が高く、現実とかけ離れた就労先を希望する方も少なくないとの事。理想と現実のギャップを埋め、いかに本人の中で納得していくのが大切との話がありました。

罪を犯した障がい者が地域で生活をしていく際、収監中からサービスを調整し、出所してからすぐに福祉サービスが使える環境を整える事はとても大切だと感じます。その一方で、本人が地域で暮らしていく「生活者」として何に不安を感じていて、今後何をしていきたいのかを一緒に考えていく伴走人の存在がとても大きいと感じます。また、地域住民との関係性もとても大切で、地域住民の不安を解消し、地域で支えていく環境の調整もとても重要だと感じました。

就労訓練事業開拓者養成講座



平成28年1月25日から26日、就労訓練事業開拓者養成講座に参加しました。講師は厚生労働省社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室の高木氏、浦安市健康福祉部社会福祉課の梅澤氏、特定非営利法人ユニバーサル就労ネットワークちば池田氏ほかで、講座は、生活困窮者自立支援制度や各種制度の就労支援事業で、企業や社会福祉法人等と連携し、多様な人材が活躍できるしごと・労働の場を開発する人材を育成する目的で、生活困窮者自立支援制度の就労支援のあり方についての理解を深めるものでした。



就労事業所開拓では、利用者本人のニーズに着目するだけではなく、就労体験や実習を行う事業所のニーズにも合わせた開拓を行い、事業所がメリットを感じられるようにコーディネートをすることで、就労の場の拡がりを目指すことが必要と感じました。また、一般就労、就労体験、職場見学など、それぞれの就労支援の形態に対象を絞るのではなく、様々な協力を得られるよう広い視野をもって連携することが重要と感じました。



あいネット就労準備支援室より

2月

就労準備支援室からは、就労についての情報をお届け致します。講座にもぜひご参加ください。



履歴書記入の注意点 No.9



職務経歴書作成のポイントは、年代ごとに変わる？

キャリアコンサルタントから寄せられた声をまとめると、変わる(83%)、変わらない(17%)

・20代求められるのは「一貫性」のあるストーリー！

なぜその職種を目指すのかというロジックを、しっかりと記載していることが必要です。

・30代企業が求める人物像を把握してアピールする！

求人票の読み込みや人材紹介会社の活用を通じて、企業情報をより詳細に把握し、職務経歴書の書き方を工夫しましょう。

・40代以上、職務経歴書のボリュームには要注意！

転職・異動の経験が多く、職務経歴書が長くなる場合もあります。冒頭に「要約」を付けましょう。



こころを健康に保とう！ No.5



あたまを柔らかくしよう！

ストレスを感じるとき、私たちは物事を固定的に考えてしまっていることがあります。たとえば、「必ず、〇〇をしなければならない」と考えていて、それがうまくいかないときには強いストレスを感じてしまうでしょう。問題点やダメな点ばかりに注意が行きがちです。そんなとき、ダメな点ばかりではなく、実際にできていること、うまくいっていることに注意を向けるのもよいでしょう。考え方や見方を少し変えてみるだけで、気持ちが少し楽になることがあります。（厚生労働省「みんなのメンタルヘルス」より）

半分水が入ったコップのお話がよくされます。「もう半分しかない」と考えるか、「まだ半分ある」と考えるか。物事の見方が偏らないよう、いろんな見方をしてみましょう。

今月の講座案内

講座受講希望の方は日程調整いたします。ご連絡ください。



コミュニケーション講座

面接の模擬をしたり、気持ちが楽になるコミュニケーションの方法をお伝えします。ワークを通してスキルを高めましょう！

キャリア講座

自分を振り返りながら、仕事についても考えてみましょう！

パソコン講座

Word・Excelを通してパソコンの基本的な操作を覚えられるようお手伝いします。マンツーマンが基本ですので、ご自分のペースで練習する事ができます。

職場体験

ディサービス「あじさい」で高齢者が自立した生活ができるようお手伝いをします。車で送迎します。昼食代500円頂きます。



この講座は、生活困窮者自立促進支援法に基づく支援を利用されている方に向けてのプログラムです。対象ではない方で利用希望の方は電話でご相談ください。

特定非営利活動法人 エンゼルフラワー



かしわ

柏うぁ～か～



江戸川台駅前にNPO法人エンゼルフラワー、地域活動支援センター「花のエンゼル」があります。理事長の薬師川さんにお話しを聞きました。

◆どんなところですか？

店舗「花のエンゼル」では、販売補助・準備。フラワー園では、花の生産・管理をしています。

通所施設において、就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識および能力の向上や維持を目指しています。働く意欲はあるが、一般の就労には結びつかず、支援を受けながら働きたい方に支援を行い、その方に合った工賃を支払っています。

◆どんな方が対象ですか？

障害者手帳をお持ちの方を対象としています。現在は、精神障害の方、知的障害の方等が利用しています。

◆ここで大切にしていることは何ですか？

障害が理由で働きたくても働けない等、不利益を被っている方を受け入れることで、社会奉仕になれば、と思っています。ハンディキャップを持つ人の「働きたい」を支援します。皆で共に汗を流し、園芸作業を通じて、体力・気力を充実させ、明日への希望を育むことを目指します。働く身体と社会性を身につけ、就労へのステップとしての役割を果たすことを願っています。

◆最後に一言お願いします。

4月より、就労継続支援B型事業所に改変します。定員の空きがあるので、まじめに働いて頑張りたいと思っている方、ぜひお待ちしております。

◆感想

店頭には、綺麗な花がたくさんあり見ていだけでも癒されました。利用者さんがいきいきとした表情で接客をしていました。地域に根ざした事業所で働くことで、障害をお持ちの方が地域に溶け込みその人らしく暮らしていけたらいいな、と思いました。



お知らせ

こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで
(TEL：04-7165-8707 FAX：04-7165-8709)

映画「ぼくはうみがみたくなりました」無料上映会

自閉症の青年と看護学生との心温まる＆ちょっぴり泣ける映画です。観終わった後はほっこり気分。障がいや自閉症の説明がさり気なく入っているので、障がいを理解したい方にはオススメです！（上映時間103分）

日時：平成28年2月27日(土) 13時～15時 受付12時45分～

会場：モラージュ柏 2階 モラージュホール

参加料：無料 事前予約不要 直接会場へお越しください

お問い合わせ：障がい理解推進チームWa's（ワズ） 大隣 090-3428-5328

